

## Q&A 集 No.5

### (Q7) 2025年3月2日から公開

Q7 先の A6 で、次のように書かれた箇所があります、

\*

初代第一霊の第1回創造時では、期限内に宇宙霊レベルに到達できなかつた霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、初代第一霊は再び期限付き道場を創造します。しかし、期限内に第一霊に到達しなかつた霊体は完全死を迎えます。この完全死した霊体を第一霊に導くため、2代目第一霊は期限付き道場を創造します。

このように、前第一霊の怒りに触れた者たち（たとえば、己と家族と仲間と自国の幸せのみをどこまでも追及し、敵対するものたちを排除・殺し続けてしまった者たち）と、前第一霊の霊力をもってしても救えなかつたものたちを、未来の第一霊に導くための道場の創造行為が、次の第一霊によって、と言うように、過去から未来にわたって無限に繰り返えされます。

\*

と。

つまり、初代第一霊の霊力をもってしても救えなかつたものたちを救うために、2代目第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造します。そして、初代と2代目第一霊が救えなかつたものたちを救うために、3代目第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造します。同じように、初代～  
( $n-1$ ) 第目第一霊が救えなかつたものたちを救うために、 $n$  第目第一霊は霊界と物質界の宇宙を創造することになります。

ここで疑問に思うのは、初代～( $n-1$ ) 第目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちを、 $n$  第目第一霊

が救うことができるのでしょうか？

**A7** 確かに、初代～（n－1）第目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちであったならば、n 第目第一霊がどれほど頑張ったところで救えないでしょうね。

でも、質問者が心配する、このようなこと、つまり、初代～（n－1）第目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちは存在しないのです。それはどうしてなのか？ その理由を説明してゆきます。

ここで、皆様が想像できる極悪人の 1 人、A さんに登場していただくことにします。

A さんが次の①～⑤の罪を犯し、死んで霊界に戻ってきたとします。

- ① 10 人の命を奪った。
- ② 10 人の顔に熱湯を浴びせ大火傷を負わせた。
- ③ 10 人の手足の機能を奪った。
- ④ 10 人の視力を奪った。
- ⑤ 10 軒の家に放火し全焼させた。

A さんは銀河霊（人類）ですから、霊界に戻ってくると類魂の仲間たちから、「A さんの罪は、真理と摂理の働きに関して無知であった、心の無明さから生まれたものだから」と、優しさの籠った言葉で慰められます。……やがて、類魂の中の B さんが地上に降誕して、A さんに代わって、罪を償っている光景を目にします。すると、A さんは魂の目覚めが原動力となって、類魂全体の幸せのために、身命を捧げながら、天使のごとく善行に励むように変わります。

もし、A さんが懺悔しなかったら？ 天使（善人）に変わろうとし

なかったら？

そのとき A さんは銀河霊界から追放<sup>ついほう</sup>され、人霊界や動物霊界に落ち、A さん自身でこれまでの罪を償うことになります。しかし、A さんのような極悪人でも、数万年の地獄の苦しみの中で（＝「地獄は、もう、やだー」となり）懺悔の心が次第に芽生え、天使（善人）に変わろうとするものなのです。

もし皆様の中で、「極悪人が善人になるの？」と疑問を持たれる方は、数万年間、地獄で過ごす体験をされてはどうでしょうか？ そうされれば、きっと、ご理解いただけると信じます。

（余談ですが、霊体は上位の世界には入れませんが、下位の世界には自由に入れます。何が言いたいかと言いますと、以前、「地球には、銀河霊だけでなく、恒星霊や惑星霊も住んでいるのですか？」と質問されたことがあります。地球は恒星霊や惑星霊にとっては、上位の世界ですから、人間の姿で住むことはできません。ですから地上の人間はすべて銀河霊なのです。）

ここで、現実的な話をします。それは、A さんが地上で①～⑤のすべての犯罪を達成することは不可能と仰うことです。なぜなら、①数人殺めたところで、⑤数軒、放火したところで、警察に捕まって拘束<sup>こうそく</sup>されてしまうからです。

では、動物霊以下の霊体では？ A さんほどの悪業<sup>あくごう</sup>を働く霊体は全宇宙にも存在しません。なぜなら、動物霊以下の霊体は悪意をもって、殺人も放火もできないからです。

では、全人霊界と全惑星霊界では？ これらの世界は、自身が犯した罪の報い・天罰を速やかに受ける世界ですから、①1人殺め時点で天罰がくだり、以後、決して人を殺めてはいけないという懺悔の心が芽生えてきますので、A さんのような極悪人は存在しません。

全宇宙で、つまり①数人、殺め、⑤数軒、放火する、Aさんのような極悪人が存在するのは、現在の地球だけなのです。

しかも、空爆は、上記①～⑤の全犯罪を一瞬でしているのです。

この問題は、深刻でとてもデリケートですので、細心の注意を払いながら説明を続けます。

C国のDさんがEさんに命じて、隣のF国を敵視し、そこを空爆するよう命じ、Eさんが数十回空爆を続けた結果、F国の

- ① 100万人が死に。
- ② 100万人が大火傷を負い。
- ③ 100万人が手足を失い。
- ④ 100万人が失明し。
- ⑤ 100万人が家を失い。

この空爆を支持したC国民1億人がいたと仮定します。

「この空爆は、自国を守るため必要だったと言う言い訳」が最大限考慮されたとしても、多くのF国民に深い悲しみと苦しみを与えておりますので、DさんとEさんと空爆を支持したC国民が、この罪の報いから逃れることはできません。もし逃れることができてしまったならば、空爆の<sup>おうしゅう</sup>応酬に歯止めがかかりませんので、いつになっても地上に、平和も調和も秩序も訪れないからです。

では、DさんとEさんと空爆を支持したC国民が死んで霊界に来た場合どうなるのでしょうか？

彼らは、「皆さんの罪は、真理と摂理の働きに関して無知であった、心の無明さから生まれたものだから」と、優しさの籠った言葉で慰められます。……やがて、彼らの類魂たちが地上に降誕して、彼らに代わって、罪を償うこととなります。ところが、罪が重すぎて、彼らの類魂たちだけでは手に負えないため、1000億の2乗数の全銀河霊に助けを求めることになり、全銀河霊で協力して罪を償う

ことになります。これが実相の姿です。

つまり、地上で起きている戦争は、すべてこのような空爆を伴うものばかりですから、全銀河霊の一員である皆様にも、戦争によって生まれた罪の報いを背負う場面がくることになります。

これを聞いて、恐怖に震えないことです。それはどうしてか？ その理由をこれから説明してゆきます。

どうして、DさんとEさんと空爆を支持したC国民が、空爆・戦争と言う罪を犯してしまったのか？

それは、死後の天国と地獄の存在を知らないことや、やったことの報いを髪の毛1本ほども軽くでないことや、輪廻転生<sup>りんねてんしょう</sup>の存在を知らないことなど、真理と摂理の働きに関して無知であることが主原因です。ですから、皆様だって、真理と摂理の働きに関する知識に出合っていなければ、彼らと同じ罪を犯す可能性がありますので、犯した罪を償い合う、銀河霊界の契約は、全銀河霊にとって必要（安心）なのです。

では、皆様に分け振られる、戦争によって生まれた罪の報いに、どう対処したら良いのか？

罪の報いを受ける（罪を償う）方法は大きく分けると2つ（①と②が）あります。

- ① 相手が受けた苦しみと同等の苦しみを受けて罪を償う。
- ② 善行によって、苦しみと反対のベクトル（大きさ）で周囲の霊体に喜びを<sup>もたら</sup>す善行によって罪を償う。

です。

ですから、皆様には、②を選択されることをお勧めします。

でも、②も多少の痛み・苦しみを伴います。なぜなら、早朝からの空き缶拾いは、眠いし疲れます。寄付・募金には、自身の生活を切り詰める自己犠牲の痛み・苦しみが伴います。戦争反対や平和を呼びか

ける善行は、政府に拘束<sup>こうそく</sup>される危険（痛み・苦しみ）があります。このように善行も、痛み・苦しみに耐える覚悟が必要になります。

それでも②を勧めるのは、①は、いやいやながら・受動的であるのに対して、②は痛み・苦しみを覚悟の能動的行為で、かつ、周囲の霊体から感謝と言う善想念が送り返されるからです。

空爆と言う罪を犯した人たちでさえも、類魂たち、いや全銀河霊たちが代わりに罪を償っている光景によって、善人（天使）に変わってゆきますので、当初の質問、初代～（ $n-1$ ）第目第一霊たちの霊力を総動員しても救えないほど深刻なもの（霊体）たちは存在しませんので、 $n$ 第目第一霊が救うべき対象は、主に、「自身が新たに創造した霊体たち」になります。

回答は以上です。